



神戸会場（ラッセホール）のようす

8〜10月にかけて、職場復帰を控える育児休業中の組合員を対象とした「カムバックセミナー」(主催Ⅱ教職員共済、共催Ⅱ兵教組)を神戸・姫路・但馬の3会場と神戸支部・三美支部で開催し、合計95人が参加した。

開催4年目 参加者は延べ300人以上に

3つの講座を通じて、育児を支援する制度や学校現場の最新情報、子どもの成長などライフステージの変化に対応した生活設計等の情報の提供とともに、子育て経験者の先輩組合員からメッセージを届けた。

保育所への準備や仕事と育児の両立への工夫、育児

カムバックセミナー

育休中組合員の現場復帰をサポート！



各会場で託児室も設けられた

アドバイスブックの一部抜粋

1. 育児・家事・仕事の両立方法やタイムスケジュールについて

○周りに協力をもとめること。祖父母はもちろん、友人、職場の仲間にも。「できないことはあるけれど、できることは精一杯します」の姿勢で。○いつ保育所にお迎えに呼ばれるかわからないので、できることはできるだけ早め早めに終わらせておく(提出物、校務分掌、学級事務など)。

2. 復帰までに必要な準備について

○プレ出勤制度の活用を。校長先生の印があれば収入がなくても保育所に入れました。○10月中に保育所の申込が配布され、1月中旬に入所決定→説明会という流れ。準備物が多いので早めにとりかかる方がいいと思います。

3. 育休中のみなさんへ一言メッセージ

○心配せずとも、現場に復帰すればすぐに勤が戻ってきます!安心して、育休ライフをエンジョイしてください。○ママ先生は時間のやりくりが大変ですが、先輩も通ってきた道。子育て支援休暇も上手に使って、がんばりましょう!

小学校の学級担任は現行分に加え、運動会前1か月にも補充された。「次の世代のために」と、産休代替や育休をはじめとした権利獲得のためにたたかってきた先輩方の思いが今もつながっている。

4年目の開催となり、延べ参加者数は300人を超えた。参加希望者のニーズ

・講座Ⅰ「笑顔でいきいきと働くために」育児と仕事の両立支援制度・権利獲得のあゆみ

・講座Ⅱ「子育て世代の貯蓄と保障」子どもの成長と教職員共済による備え

・講座Ⅲ「学校の最新情報」参加者交流会

・現場を離れていると不安になるが、現状を聞けてよかった

・勤務校の資料をたくさんいただいたうれしかった

・同じ悩みを持った先生と話ができてよかった

・たくさん話せてリフレッシュできた

参加者の声

講座Ⅰ「笑顔でいきいきと働くために」育児と仕事の両立支援制度・権利獲得のあゆみ

講座Ⅱ「子育て世代の貯蓄と保障」子どもの成長と教職員共済による備え

講座Ⅲ「学校の最新情報」参加者交流会



休暇制度等の権利についてまとめたクリアファイル

カムバックセミナー参加者には、妊娠中のようすについてアンケートをおこなった。回答者70人のうち、59%にあたる41人が、「妊娠障害の症状があった」と答えており、そのうち15人が「制度を知らなかった」、「休みたいと言いつらかった」と回答した。

「妊娠初期の安定しない時期に運動会のダンス担当を頼まれ、断ることもできず不安だった」、「切迫早産に悩まされた」とも回答した。

私たち教職員には、組合員の声をもとに県教委と交渉した結果、様々な権利が認められている。兵教組では、休暇制度等をわかりやすくまとめたクリアファイルを作成し、全組合員に順次配付する。これまで勝ち取ってきた権利を守るためにもぜひ活用してほしい。

「休まず勤務」37%

妊娠障害の症状があっても…



(こどもの詩と絵 第36集より)

「いつもワイワイ 下た箱」

三木市立自由が丘東小学校 六年 藤井 瑞陽

15th Anniversary ラッセホール15周年記念 バンケットプラン

9/1(木) ▶▶ 11/30(水)

ラッセホールはおかげさまで15周年を迎えました。感謝の気持ちを込めて、期間限定のお得なプランをご用意いたしました。



2時間制
20名様から

お料理＋フリードリンク お一人様 (税金・サービス料込)

5,000円

卓盛りメニュー

- ローストビーフとパストラミのサラダ
- チキンのマリネ
- 戻り鰯のたたき
- 八宝菜
- 秋野菜のミートソースグラタン
- 秋刀魚の南蛮漬けと彩り野菜
- きのこのパスタ ペペロンチーノ風
- ばつら寿司とサラダ巻き
- フルーツ&デザート
- コーヒー

フリードリンク

- 瓶ビール
- 焼酎(芋/麦)
- ウィスキー
- 赤/白ワイン
- 日本酒
- ウーロン茶
- オレンジジュース

プラス

buffet形式にすると、料理が一品(おまかせ)追加でさらにお得に!

注意事項
※ご延長の際は30分につきお一人様500円(税金・サービス料込)の追加料金をいただきます。※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、音響・照明費(ワイヤレスマイク2本付)、会場費(2時間)、税金、サービス料が含まれております。
※当日キャンセルの場合は全額キャンセル料としていただきます。

その他、オプション等、多数をご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110
お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール
〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8
TEL.078-291-1117 (代表)
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com

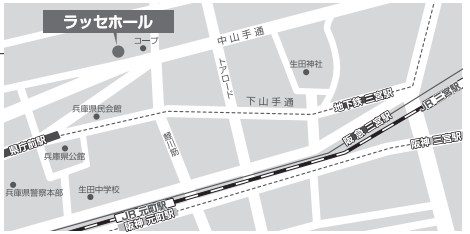


図1 平和教育で取り上げている題材（複数回答）

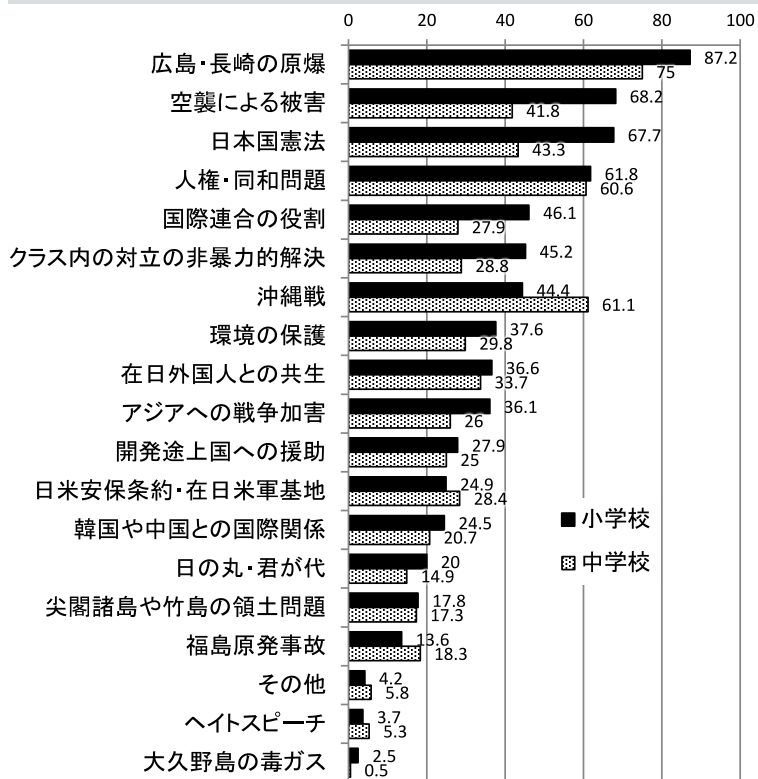
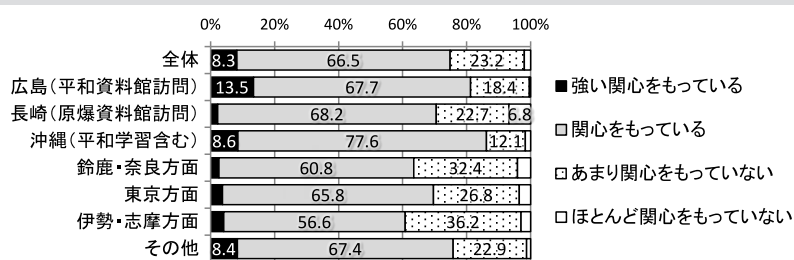


図2 若い教職員の平和教育実践への関心（修学旅行先別）



若い教職員層（30歳代前半まで）が平和教育実践に「強い関心をもっている」と答えた割合が高くなるのは、①修学旅行先が沖縄や広島である（図2）、②平和教育の年間カリキュラムが学校全体でつくられている、③中高年の教職員が多数を占めている学校、という傾向が見られた。このことから、若い教職員層には修学旅行や平和教育カリキュラム（学校や学年段階）を通じ、平和教育実践が継承されている様子がうかがえる。

若い教職員の平和教育実践への関心

総合的な学習の内容の一つに「平和」が例示された県教委の通知文について、「ほとんどの教員が知っている」と答えた学校の割合が約24ポイント高かった。通知文を多くの教員が知っている学校ほど、「平和」がテーマとして含まれる割合が高くなると言える。

2つ目に、今回の実態調査で、「広島・長崎の原爆」「空襲による被害」「沖縄戦」など過去の日本の戦争に関連した題材を取り扱っている一方、「戦争被害と戦争加害を関連づけて学習する」が、他の項目よりも低い。被害面のみを扱う学習では、日本がおこなった戦争の責任をあいまいに考える力がつかない。当時の人々による「協力・加担」の視点も入れ、多面的に考

察し、戦争の実情を理解する必要がある。3つ目に、今後重要になると思われる平和教育の題材としては、「日本国憲法」をはじめとして「日米安保条約・在日米軍基地」「韓国や中国との国際関係」「在日外国人との共生」など今日の課題・題材が上位にあげられている。しかし、これらをどのように扱ってよいかわからない教職員が多いことがわかってきた。教職員が必要だと考えている内容の扱い方を改めて見直していく（実践し広げていく）必要がある。

4つ目として、平和教育をおこなう場合、知識や価値観を一方通行的に教え込むことは避けたいところである。子どもたちが自ら考え判断したり、子どもたちが感じていることを自由に討論したり表現したりできる学習が大切となっている。また、机上だけではなく、自分たちで行動できることが保障される環境づくりも重要である。

最後に、今回の調査の中から、ヒロシマ・ナガサキ・オキナワをテーマとする平和教育実践は引き継がれていることもわかった。しかし、平和教育に関心を持つ割合が、年齢が下がるほど低くなっている。中高年の教職員が中心となって、改善する点も含めて平和教育の内容と方法を教職員間で共有していくことが重要となってきた。

平和教育の実践内容について、20年前の調査結果と比較して、地域間の差は大きくなっており、平和教育の年間カリキュラムをつくっている学校が減っている。また、平和教育関連の校務分掌の設置率も下がっている。平和教育が学校で広く実践されるためには、平和教育のための校務分掌を設けることが効果的であるが、そのような学校は95調査と比較して7・7ポイント下がり、3割にとどまっていることがわかった。

道徳での平和教育に関する実施内容を見ると、15調査で新設した選択肢である「異文化をもつ人々との共生」、および「平和のために努力した人や団体」に対して半分以上の選択があった。

平和教育実態調査2015の報告 —これからの平和教育—（抜粋）

兵庫教育文化研究所 平和教育部会

学校内での平和教育のとりくみ

平和教育の実践内容について、20年前の調査結果と比較して、地域間の差は大きくなっており、平和教育の年間カリキュラムをつくっている学校が減っている。また、平和教育関連の校務分掌の設置率も下がっている。平和教育が学校で広く実践されるためには、平和教育のための校務分掌を設けることが効果的であるが、そのような学校は95調査と比較して7・7ポイント下がり、3割にとどまっていることがわかった。

平和教育の実践内容

平和教育の題材については、多いのが「広島・長崎の原爆」、「空襲による被害」、「沖縄戦」であり、過去の戦争に関する題材がいずれも05調査より割合が増えている。「日本国憲法」は15調査で60・0％と大幅に増え、第3位に上がった。一方で、「アジアへの戦争加害を取り上げたのは、小学校で36・1％、中学校では26・0％にとどまっている。（図1）

道徳での平和教育に関する実施内容を見ると、15調査で新設した選択肢である「異文化をもつ人々との共生」、および「平和のために努力した人や団体」に対して半分以上の選択があった。

平和教育の方法と題材の変化

情報化は学校にも影響を及ぼし、平和教育の学習方法として、15調査では「インターネットの利用」が43・0％、「ビデオやネットの録画証言の利用」が21・0％あった。しかし、戦争体験者からの直接的な継承は大幅に減少している。

平和教育の実践内容

祖父母の戦争体験を開き取る平和学習は、小学校段階の子どもたちにとって難しい方法になっている。総合的な学習の内容の一つに「平和」が例示された県教委の通知文について、「ほとんどの教員が知っている」と答えた学校の割合が約24ポイント高かった。通知文を多くの教員が知っている学校ほど、「平和」がテーマとして含まれる割合が高くなると言える。

今後の課題（まとめ）

前回の調査から今回の調査までの10年間で、祖父母（曾祖父母）からの戦争体験談を聞く学習が半減している。小学生の祖父母のほとんどがすでに戦後生まれとなっているからである。戦争体験を語ってくれる方や体験を継承されている方と子どもたちを会わせることができるのは私たち教職員であることを自覚したい。さらに、直接体験談を聞けなくても、子どもたちの心に響くような学習方法の工夫が必要である。また、地域の人や物から戦争の記憶を引き継ぎ、伝えていく実践ももたらされている。地域の戦争遺跡・遺構は、校区の歴史を調べることで意外と多く見つけることができる。

3つ目に、今後重要になると思われる平和教育の題材としては、「日本国憲法」をはじめとして「日米安保条約・在日米軍基地」「韓国や中国との国際関係」「在日外国人との共生」など今日の課題・題材が上位にあげられている。しかし、これらをどのように扱ってよいかわからない教職員が多いことがわかってきた。教職員が必要だと考えている内容の扱い方を改めて見直していく（実践し広げていく）必要がある。

年金共済で、公的年金にプラスし

ゆとりあるセカンドライフをめざしませんか？

現職中に積立

月々積立

月額5,000円以上1,000円単位で積み立てられます。
※ご加入後に増額・減額もできます。

+

まとまったお金を積み立てたいときは…

ボーナス積立

10万円以上1万円単位

任意積立

で積み立てられます。

※ボーナス積立、任意積立は取崩し（一部解約）ができます

ご退職時に受取年金を決定

- 年金原資（積立金）が受け取りたい年金に足りない場合は、一時払掛金で原資を積み増しすることができます。
- 年金原資（積立金）が受け取りたい年金より多い場合は、超過分を一時金でお支払いします。

無理のない金額で
毎月コツコツ

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください。

あんしん むすぶ 教職員共済

資料請求・お問い合わせは▶

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730

FAX (078) 221-1199

承 09-16-03 (0911)